

●第 54 回数理社会学会大会について

第 54 回数理社会学会大会が、2012 年 8 月 30 日（木）、31 日（金）の二日間にわたって、関東学院大学 KGU 関内メディアセンターで開催されます（大会委員長は籠谷和弘会員）。特別企画として、学会賞受賞講演、シンポジウム「社会階層と健康」（オーガナイザーは神林博史会員）、ワンステップアップ・セミナー「ゲーム理論の基礎と応用」（講師は大浦宏邦会員、下記参照）が予定されています。また、この大会から若手会員むけ大会報告トラベルグランントがスタートします（1 人 3 万円、5 人程度、下記参照）。自由闊達な議論の場となることを期待しています。

（研究理事 小林盾）

●第 54 回数理社会学会大会の報告申し込みについて（Call for Papers）

第 54 回数理社会学会大会で研究報告を希望する方は、下記の要領でお申し込みください。

「自由報告」は、数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。口頭発表で行い、発表 15 分、討論 10 分となります。「申込書」と「報告要旨」を同時に提出することで正式の申し込みとします。なお、プログラム作成上の都合から、萌芽的セッション報告となることがあります。

「萌芽的セッション報告」は、萌芽的なアイデア、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して発展させることをねらいとします。

「申込書」を提出することで正式の申し込みとします（報告要旨は提出不要）。題目のみプログラムに記載され、報告要旨は報告要旨集に収録されません。

「会員発案の特別企画」は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。「企画書」を提出することで正式の申し込みとします。

発表の日時に関する要望や、申し込み後の共著者の追加・変更、題目の変更には応じられません。1人が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別な企画を除き、原則 1 回とします（ただし、自由報告と萌芽的セッション報告の登壇は両立できます）。報告を申し込みると、研究事務局から電子メールで受領通知を返信します（申し込み後数日たっても届かない場合は研究事務局にご連絡ください）。

(1) “自由報告” の申込期間は 2012 年 7 月 1 日（日）～7 月 10 日（火）（必着） です。

- ・学会ウェブページから「自由報告申込書」と「報告要旨見本」をダウンロードしてください。
- ・登壇者が所定の書類を、研究事務局と大会事務局の 2 か所に提出してください。
- ・報告形態は口頭発表のみで、発表 15 分、討論 10 分です。英語で報告することができます。

(2) “萌芽的セッション報告” の申込期間は 2012 年 7 月 1 日（日）～7 月 10 日（火）（必着） です。

- ・学会ウェブページから「萌芽的セッション報告申込書」をダウンロードしてください。
- ・登壇者が所定の書類を、研究事務局と大会事務局の 2 か所に提出してください。
- ・報告形態はポスターのみです。最大 A0 判が利用可能です。英語で報告することができます。

(3) “会員発案の特別企画” の募集は、第 54 回大会では行われません。

研究事務局 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
成蹊大学文学部 小林盾
E-mail : jams.research@gmail.com

大会事務局 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1162-2
関東学院大学法学部 篠谷和弘
E-mail : kkagoya@kanto-gakuin.ac.jp

（研究理事 小林盾）